

「薬剤師として成長できる、 多方面に挑戦できる富山県」

～ 富山県職員「薬剤師」職 PR パンフレット ～

写真提供：（公社）とやま観光推進機構



富山県厚生部薬事指導課

令和5年5月

はじめに

「幸せ人口1000万 ～ウェルビーイング先進地域、富山～」



富山県知事
新田八朗

富山県は、日本海側の中心に位置し、東西南北の各県・地域、さらには世界をもつなく「北陸の十字路」です。北陸新幹線の大坂までの全線整備、港湾、空港、道路の充実を図り、県民や民間企業の皆様、そして県内15市町村が「ワンチームとやま」としてスクラムを組めば、あらゆる分野で「地方の時代」のトップランナーへと飛躍することができます。

これからは、経済的な豊かさに加え、身体的・精神的・社会的にも満たされた状態である真の幸せ「ウェルビーイング」の向上が、やる気や意欲につながり、結果として、経済・社会の活力をさらに高めることになると考えています。一人ひとりが、暮らしのなかの真の幸せを実感し、誇りと愛着を持つことができる富山県、また、そういう富山県に引き寄せられて、多様な人材が集積する「幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山」の実現を目指し、取り組んでいきます。

笑顔と希望に満ちあふれ、チャンスがあり、夢を叶えることができる、ワクワクする新しい富山県の実現には、鋭い感性や豊かな創造力、積極果敢な行動力を持った若い皆さんのエネルギーが必要です。

新しい富山県の未来を、一緒につくっていきましょう！

「薬剤師にとっての富山県・富山県庁ってこんな所」

医薬品産業が盛んな「くすりの富山」ならではの薬業振興業務

富山県は医薬品産業が盛んで、「くすりの富山」として全国に広く知られています（2015～2016年に2年連続全国第一位の医薬品生産金額）。さらなる発展を図るため、県にくすり振興課、薬事総合研究開発センターといった薬業振興担当部署が存在し、他県にはない薬業振興業務を行っています。

大自然を相手にした山岳衛生監視

富山県は、海・川・山といった自然が豊富で、観光客も多く訪れます。安全な生活や旅を提供するため、県では一年を通じて水質や食品の検査に取り組むほか、夏場には山小屋の衛生管理といった業務にも取り組んでいます。



雨晴海岸から望む立山連峰



富岩運河と富山県美術館



立山アルペンルート（ロープウェイ）

写真提供：（公社）とやま観光推進機構

地域医療中核拠点での調剤・病棟業務

富山県立中央病院は県内で唯一の県立総合病院として、がんや急性期医療などの専門的・先進的な医療を提供しています。「県民に良質で安全な医療を提供し、県内医療機関等との連携を図り、地域社会に貢献する」という理念のもと、日々業務に取り組んでいます。

業務内容

「富山県職員薬剤師職の働くフィールド」

薬事監視員として

県庁薬事指導課、厚生センター（保健所）や薬事総合研究開発センターにおいて、医薬品等営業者の許可及び監視指導業務のほか、児童・生徒向けの薬物乱用防止教育啓発や薬剤師に関する体験学習の企画等に取り組んでいます。

専門知識（衛生薬学、薬事法規等）を活かして業務を行うことはもちろん、最新情報にも目を配りながら、保健衛生の向上に努めています。

食品衛生監視員として

県庁生活衛生課、厚生センターや衛生研究所において、食品営業者の許可及び監視指導業務のほか、流通食品の試験検査、調査研究といった業務に取り組んでいます。

専門知識（微生物学、衛生薬学等）を活かして業務を行うことはもちろん、県民に分かりやすく伝えるコミュニケーションを常に意識して、保健衛生の向上に努めています。

環境衛生監視員として

県庁生活衛生課、厚生センターや衛生研究所において、理容・美容・クリーニング、旅館・公衆浴場・興行場等の営業者の許可及び監視指導業務のほか、温泉や遊泳用プール水等の試験検査、調査研究といった業務に取り組んでいます。

専門知識（微生物学、衛生薬学等）を活かして業務を行うことはもちろん、県民に分かりやすく伝えるコミュニケーションを常に意識して、保健衛生の向上に努めています。

感染症予防・対策職員として

県庁健康対策室、厚生センターや衛生研究所において、日々感染症について情報収集しながら、身近な対策の啓発業務、行政検査・相談業務等に取り組んでいます。新型コロナウイルスなど、新興再興感染症の流行時には、関係機関とも連携し、疫学調査や感染者・濃厚接触者の健康管理・医療機関入院手続きなど、県民の健康を守る業務にあたっています。

専門知識（微生物学、衛生薬学等）を活かして業務を行うことはもちろん、関係機関との密接な連携、迅速な対応を心掛け、保健衛生の向上に努めています。

試験検査員・研究員として

厚生センター、薬事総合研究開発センターや衛生研究所において、薬事、感染症対策、食品衛生の試験検査、調査研究業務のほか、学生向け研修や産業振興等といった業務に日々取り組んでいます。

薬剤師の専門知識（薬学、化学、衛生薬学等）を活かして県民の保健衛生の向上に努めています。

病院薬剤師として

富山県立中央病院において、調剤業務のほか、病棟活動、抗がん剤調製、TPN 調製、医薬品情報業務、治験業務などに取り組んでいます。

薬剤師の専門知識をフルに活かし、チーム医療の一員として他職種と連携し、患者さんに安全かつ効果的な薬物療法が実施されるよう努めています。

「先輩薬剤師からのメッセージ」

📍行政薬剤師 1 年目（厚生センター）

私の仕事は主に、飲食店の衛生的な営業のための指導や食品の検査。理容・美容店、クリーニング店の環境衛生の指導や、薬局の開設許可・監視指導なども担当しています。

新型コロナウイルスの感染拡大時には、濃厚接触者の健康観察も業務として担当しています。

幅広く薬剤師の仕事をしたと考えたとき、水やごみ処理などの衛生、感染症関連など、学んだすべてを無駄にせず行かせるのが公務員でした。異動があるので特定の分野に縛られず得た知識を発展させられるのも魅力です。

県レベルで薬の開発・振興に取り組む富山県は特別な職場だと感じています。いずれはくすり振興課も経験し、いろいろな仕事に携わってみたいです。

📍行政薬剤師 15 年目（中央病院→くすり政策課（現：薬事指導課）→厚生労働省・PMDA→薬事指導課）

富山県職員の薬剤師は、薬事や健康にかかる業務だけでなく、医療職や研究職に就くこともあります。

私は病院薬剤師として5年の経験を積み、実際に医療現場での医薬品の使い方、医療従事者の医薬品に対する考え方等を学びました。その時に得られた知識や経験を基に、医薬品の製造業及び製造販売業を調査することにより、現場で使用する医療従事者や患者さんの目線に立っての調査ができると考えています。逆に私がまだ働いたことのない厚生センターを経験している調査員から学ぶことも多く、毎日新しい発見があります。

📍病院薬剤師 2 年目（中央病院）

調剤業務の研修から始まり、秋頃から日直や当直に入ります。秋以降、抗がん剤調製や病棟業務も始まり各業務で先輩方にフォローしていただきながら、少しずつできることを増やし独り立ちしていきます。抗がん剤調製ではスピード等の技術的な面も必要ですが、技術を持つことで自信となっています。

病院では医師や看護師と直接患者の治療について議論できる点が魅力の一つだと思います。

📍病院薬剤師 5 年目（中央病院）

私が県職員を選んだ理由は、県庁や厚生センター、病院、研究所など様々な職場で経験を積むことに魅力を感じたからです。また、公務員ということもあり福利厚生がしっかりしている点も選んだ1つの理由です。

病院薬剤師の特徴として、患者さんの治療に直接関わることが挙げられると思います。医師や看護師と相談し、患者さんの治療薬の種類や量を調整することで、患者さんの抱えている問題が改善された時はとてもやりがいを感じます。

📍病院薬剤師 12 年目（中央病院）

産婦人科病棟と小児病棟を担当しています。お薬を飲んでいる妊婦さんの相談やお子さんがお薬を飲むサポートをしています。妊娠中にお薬を飲むことをとても不安に思われる方が多いので、お話をすることで安心してお薬を飲んでいただけた時にとってもうれしく思います。病院薬剤師の仕事は、医師や看護師さんと協力して患者さんに寄り添ってサポートできる、とてもやりがいのある仕事です。

📍病院薬剤師 16 年目（中央病院）

私は、糖尿病、NST、腎臓病の認定を持っています。周りの薬剤師や医師、看護師などの他職種からも頼りにされる存在になれるよう日々頑張っています。

認定を取得することや資格を維持することは少し大変ですが、支えてくれる仲間や、何よりも患者さんに寄り添った指導ができることにやりがいを感じています。

研修制度

「教育・研修体制について」

・新規採用された年度には、配属先勤務に先立ち、職員研修所等において5日間の研修（公務員や業務の基礎知識）を受講します。その後も、福祉現場体験など新規採用職員対象の研修を受講します。

| | |
|------------|-----------------------------------|
| I 期（4月） | 県の組織、地方自治法、地方公務員法、公務員倫理、待遇、文書事務など |
| II 期（6月） | 高齢者・障害者の特性と理解、メンタルヘルス、物品管理、待遇など |
| III 期（10月） | 消防学校体験入校、経営者の講話、地方税財政制度、法令の見方など |

・その後も、年齢や職務に応じた研修が行われます。主な研修の体系は次のようになっています。

1 職場外研修

| | |
|--------------|--|
| (1) 単位制研修 | 昇任や登用のための単位認定研修で、技師、係長といった階層別実施。 |
| (2) 繰返し研修 | 特定の階層や年齢を対象にした研修で、スキル等を身につけるため実施。 |
| (3) キャリア開発研修 | 時代の変化に対応できる高度な見識と幅広い視野を養うため、民間企業との交流や高度な知識・スキル等を学ぶ機会を設け、職員の意識啓発、能力開発を図ることを目的とした研修。 |
| (4) 派遣研修 | 高度で広範な専門的知識、技術を習得するため、国等へ派遣。 |
| (5) 部門研修 | 部局内の実践的な問題研究や同職種職員の専門的・技術的職務遂行能力の向上を図る研修で、部局主催のものと国機関等への派遣がある。 |

2 職場研修

新規採用職員が配属された所属の若手中堅職員が、新任職員トレーナーとして新規採用職員に適切な助言、相談を行っています（例：右下写真）

また、特に専門かつ高度な知識が求められるものについては、例えば「GMP適合性調査 新任調査実施者教育訓練プログラム」といった形で、講義及び実習による教育訓練プログラムを設け、専門職として立ち立ちできるような研修体制が構築されています。

3 自己啓発

通信教育・eラーニング、放送大学受講への助成、
自主研究活動への支援、自己啓発等休業制度・
長期自主研修支援制度 など



写真/生活環境文化部 国際課 新任職員（左）トレーナー（右）

「富山県薬学技術公務員協会について」

→ 組 織：富山県職員である薬剤師で組織

活動概略：学術の研鑽や技術の向上、会員相互の親睦を深める活動

具体的活動：①研修会・施設見学会の開催

②名簿・会誌「やくし」の編纂

③会員交流の支援 等々 勉強会をとおして、薬剤師のキャリアアップを推進しています。

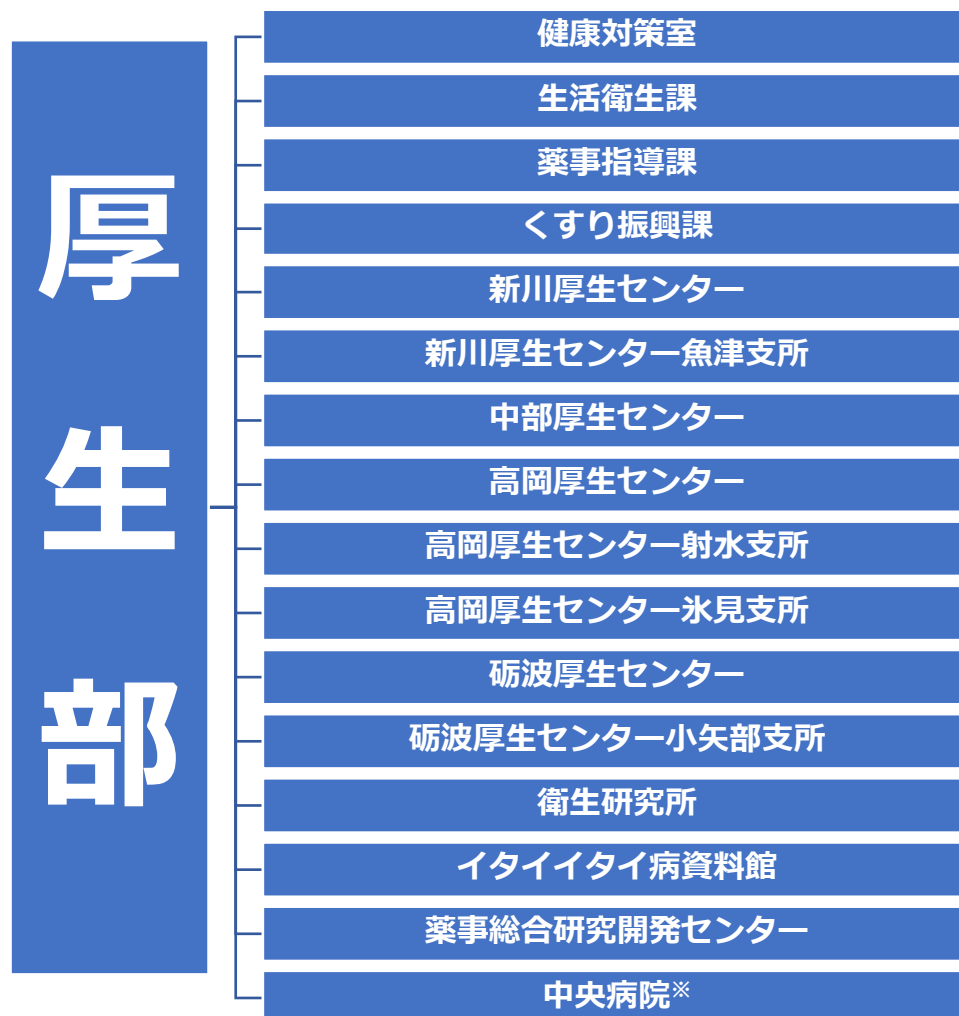
異動・配属

「富山県職員（薬剤師職）の異動・配属について」

1 配属先

県職員の薬剤師は、厚生部に配属され、保健衛生の業務に従事します。

その配属先は次のとおりで、およそ県庁3課で25%、厚生センター8所等で25%、研究所等3所で25%、中央病院25%の割合で配属されています（2022年3月末現在）。



※中央病院薬剤部 ホームページ <https://www.tch.pref.toyama.jp/yakuzai/index.html>

紹介動画はこちら→



2 異動

概ね4～5年（管理職は2～3年）ごとに、新たな所属に異動します。異動を繰り返しながら、様々な業務の経験を通じてキャリアを形成します。担当業務や人事異動に対する意見や希望について自己申告する意向調査※などがあります。前任者からの引継ぎや、所属の上司・同僚のサポートもあり、安心して仕事を進めることができます。なお、病院や研究所等など、専門性を高める必要がある所属では、長期にわたって配属（異動間隔が5年～等）になることがあります。※必ずしも希望する部署に配属されるとは限りません。

住みやすさ

「富山県での暮らし方」

1 ゆとりのある暮らし環境

富山県は、県中心部の富山市から県内全域までをおよそ 30～50Km でカバーするコンパクトな県になっており、異動があっても引越しを伴うことはありません（厚生労働省出向などへの遠方地異動を除く）。自家用車があった方が何かと便利ですが、J Rのほか各種私鉄といった地域交通網が多く存在しており、配属先にもほとんど公共交通機関で通うことが可能です。

普段の暮らしにおいても、住居費が安く、物価も安いことから、富山県では首都圏での生活に比べゆとりのある暮らしができるとされています[※]。 ※出典：令和2年（2020年）工業統計調査（速報）（富山県）以下詳細。

| | 富山県 | | 東京都 |
|--|-------------|---|--------------|
| 収入 | | | |
| 20～24歳平均月収 | 226,400円 | < | 257,000円 |
| 支出 | | | |
| 消費支出 (35歳未満単身者世帯) (全国平均×消費者物価 地域差指数。家賃除く) | 138,290円 | < | 143,710円 |
| 1か月あたり家賃 | 42,992円 | < | 81,001円 |
| 収入－支出 | 45,118円 | > | 32,289円 |
| 生活 | | | |
| 通勤時間 | 30分未満が7割 | | 30分以上が7割 |
| 保育所等入所 待機児童数 | 0人 | | 2,343人 |
| 住居の広さ (1住宅あたり居住室の畳数) | 1位 (45.86畳) | | 47位 (24.75畳) |

2 採用後の諸制度（各種手当等）

住居手当：貸家の場合以下の内容及び支給単価（最高限度 28,000 円）

①家賃 23,000 円以下の場合 家賃-12,000 円

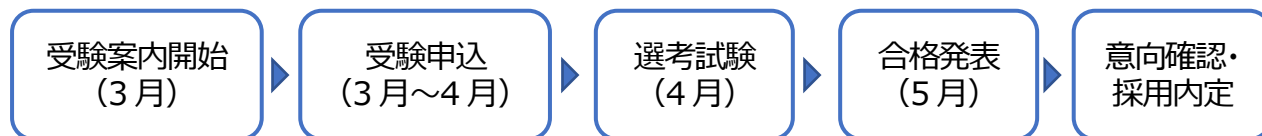
②家賃 23,000 円を超える場合 11,000 円+（家賃-23,000 円）/2

通勤手当：交通機関定期券額支給、自家用車利用距離に応じた支給、駐車料金支給（上限あり）

選考の流れ等

「選考の流れ・試験内容・採用条件」

1 採用スケジュール



通年採用を実施しています。()は、年度当初募集の場合で、内定状況によって随時追加募集を行っています。

2 試験の方法及び内容

- (1) 専門試験 専門的知識及び能力についての試験
- (2) 適性検査 素質、適性に関する検査
- (3) 面接試験 主として人柄等についての個別面接による試験

3 勤務条件

- (1) 勤務時間 8時30分から17時15分(週38時間45分) ※ 勤務場所により異なることがあります。
- (2) 週休日・休日 土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に規定されている休日及び12月29日から1月3日までの日

4 給与・待遇等 (令和5年3月時点)

- (1) 初任給 216,600円 (4年制課程を卒業した薬剤師の場合197,800円)
※ 経歴等により異なることがあります。
- (2) 諸手当 扶養手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当(年2回)、時間外勤務手当等
- (3) 昇給 年1回(1月)
- (4) 休暇 年次休暇(年20日)、特別休暇(夏期・育児参加・家族看護等)、病気休暇、介護休暇
- (5) その他 各種研修、子育て支援、健康管理・福利厚生に係る制度あり

5 主な職務内容

保健衛生、試験研究・検査、調剤業務等



< 参考 >

採用実績 (令和5年4月1日現在)

| 採用年度 | R2(2020) | R3(2021) | R4(2022) |
|------|----------|----------|----------|
| (男性) | 3人 | 3人 | 2人 |
| (女性) | 1人 | 4人 | 1人 |

採用実績校

奥羽大学、大阪大谷大学、大阪大学、大阪薬科大学、金沢大学、北里大学、京都大学、京都薬科大学、金城学院大学、岐阜薬科大学、神戸薬科大学、静岡県立大学、就実大学、昭和大学、昭和薬科大学、帝京大学、東京大学、東京薬科大学、東邦大学、東北大学、東北医科薬科大学、徳島大学、富山大学、名古屋市立大学、新潟薬科大学、北陸大学、北海道大学、北海道薬科大学、明治薬科大学、名城大学、横浜薬科大学、立命館大学 (五十音順)

Q&A

「教えて先輩?!～Q&A」

・富山県では、何名の薬剤師が在職されていますか？

- 在職員数 薬剤師 112 人（うち、男性 57 人、女性 55 人）
※ 薬剤師免許を有する富山県職員数・知事部局（令和 5 年 4 月 1 日現在）

・採用年齢に上限はありますか？

- 50 歳以下の方であれば受験していただけます。

・職場見学や OB 訪問は実施していますか？

- 少人数での職場体験会・説明会を設けているほか、夏期を中心に随時インターンシップ受入れも行っています。詳細につきましては、薬事指導課（連絡先・裏表紙）へ、個別にお問合せください。

・時間外勤務について教えてください。

- 月平均所定外労働時間は、14.8 時間（令和 3 年度。富山県職員全体）となっています。

・福利厚生は？

- 以下の制度があります。

| | |
|----------|--|
| 健康診断等 | 定期健康診断、日帰りドック、ストレスチェック 等 |
| 健康相談 | 健康相談、メンタルヘルス相談 等 |
| 健康教育 | ライフプラン demae 講座 等 |
| スポーツ、文化等 | 運動施設利用助成、サークル助成、芸術文化鑑賞助成、映画鑑賞券助成、職員文化祭の開催、職員交流事業 等 |

・産休・育休などの制度内容や取得状況は？

- 富山県職員として各種の子育て支援に係る休暇等が取得できます。特に中央病院薬剤部では、該当する方は、女性も男性も全員取得しています。

・もっと詳しく採用情報が知りたいです

- 富山県職員「薬剤師」職 PR ページ

スマートフォンはこちら→

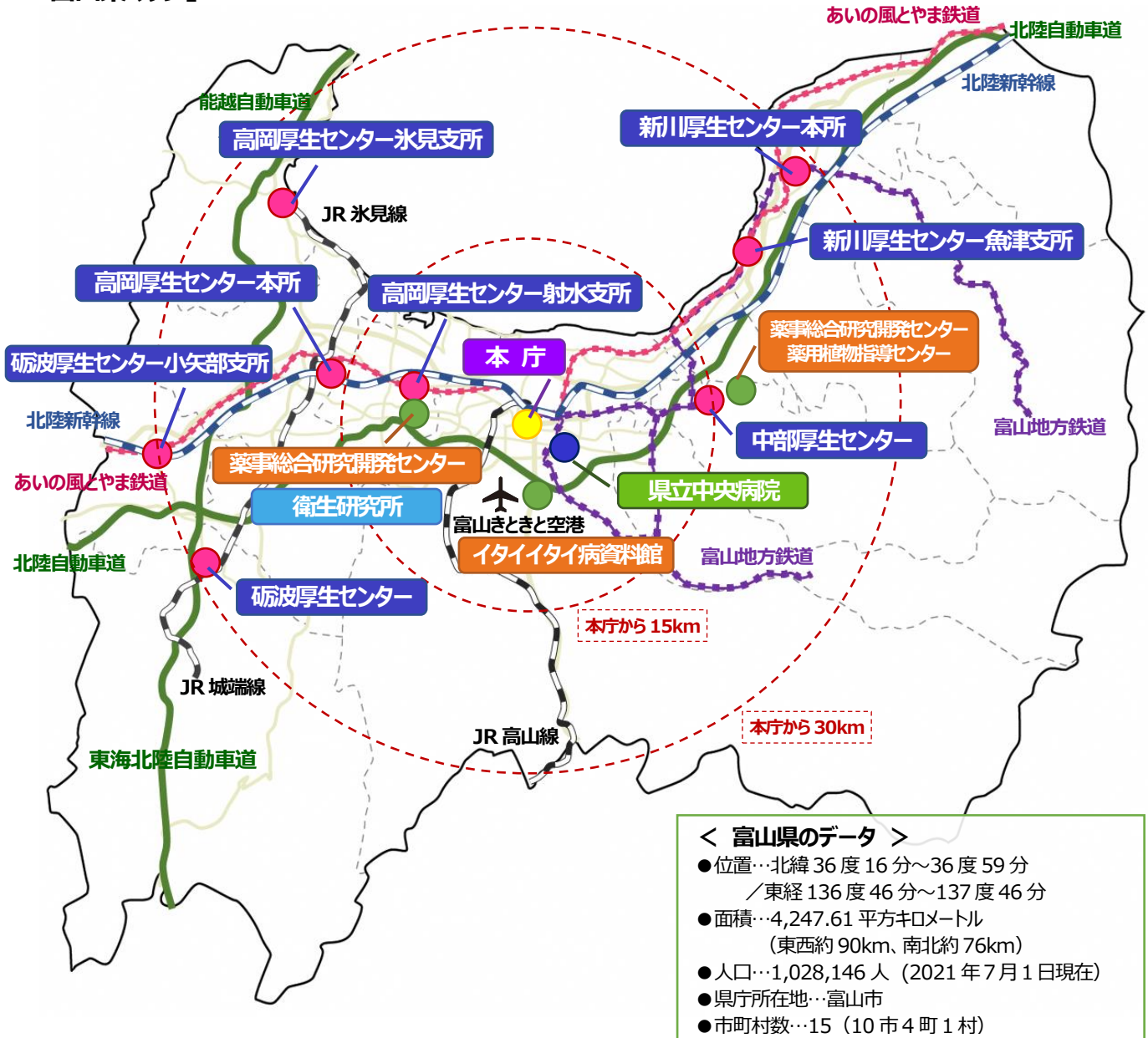


<<https://www.pref.toyama.jp/1208/kensei/shokuin/saiyou/kj00021505/index.html>>

富山県職員採用総合案内

<<http://www.pref.toyama.jp/sections/0300/saiyo.html>>

「富山県マップ」



「主要都市からのアクセス」

富山県は、東京、大阪、名古屋の各都市圏からほぼ等距離にあります。2015 年春の北陸新幹線開業で富山～東京間の移動時間が最速 2 時間 8 分に短縮されました。

| | | | |
|---------|-----|---------------------|------------------------------------|
| □ 東京から | 鉄道 | 最速 2 時間 8 分 | 北陸新幹線かがやき |
| | 自動車 | 約 4 時間 50 分 | 関越自動車道、上信越自動車道、北陸自動車道経由 |
| | 飛行機 | 約 1 時間 | 富山きとさと空港～羽田空港 (ANA・3 往復/日) |
| □ 大阪から | 鉄道 | 最速 2 時間 51 分 | 湖西線経由の特急サンダーバード・金沢駅北陸新幹線乗換え |
| | 自動車 | 約 4 時間 15 分 | 名神高速道路、北陸自動車道経由 |
| □ 名古屋から | 鉄道 | 最速 2 時間 49 分 | 東海道新幹線こだま・米原駅特急しらさぎ乗換え・金沢駅北陸新幹線乗換え |
| | 自動車 | 約 3 時間 | 名神高速道路、東海北陸自動車道、北陸自動車道経由 |

「お問い合わせ先」 富山県厚生部 薬事指導課

〒930-8501 富山市新総曲輪 1-7 TEL 076-444-3234 / FAX 076-444-3498
 E-mail ayakujishido (at)pref.toyama.lg.jp ※ at を @ に変換してください。
 URL <https://www.pref.toyama.jp/1208/kensei/kenseiunei/soshiki/12/1208.html>

